

成田空港の更なる機能強化



冬期スケジュールからA滑走路の発着時間が延長

更なる機能強化へ航空法の変更許可申請も

国、千葉県、空港周辺9市町、NAAの四者で構成される「成田空港に関する四者協議会」での合意に基づき、A滑走路（4000m）の発着時間を、2019年冬期スケジュールから1時間延長した。また、B滑走路の延伸やC滑走路の新設等に向けて、航空法に基づく空港等の変更許可申請等を国土交通省に行った。許可が得られれば2028年度末までに、これらの工事の完成を目指す。

今後も拡大が見込まれる首都圏の航空需要に対応していくため、2018年3月13日の成田空港に関する四者協議会（以下、四者協議会）において、第3滑走路（C滑走路）の整備をはじめとした「成田空港の更なる機能強化」の実施について合意され、機能強化の内容やそれに伴う環境対策等に関する確認書が締結された。また、C滑走路供用開始までの措置として、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催までに、A滑走路の夜間飛行制限を変更し、発着時間を1時間延長することについて合意。その後、2019年2月4日の四者協議会において、A滑走路の夜間飛行制限変更については、2019年冬期スケジュールから実施することが確認された。

2019年冬期から実施する必要性を要望

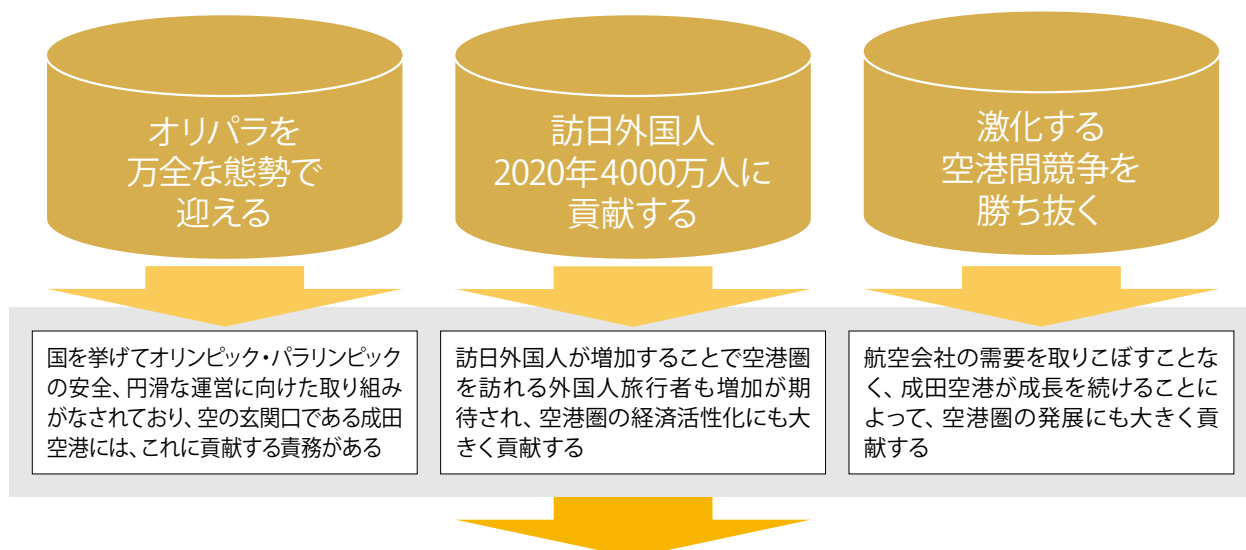
NAAは四者協議会で、夜間飛行制限の変更を2019年冬期スケジュールから実施する必要性について、①東京2020オリンピック・パラリンピックを万全の態勢

で迎える、②訪日外国人旅客数を2020年に4000万人とする政府目標の達成に貢献する、③アジア地域において激化する空港間競争に勝ち抜く、などの観点から説明した。

東京2020オリンピック・パラリンピックについては、国を挙げて大会の安全・円滑な運営に向けた取り組みが行われており、日本の空の玄関口である成田空港は、東京2020オリンピック・パラリンピックを万全の態勢で迎える責務がある。訪日外国人旅客数を2020年に4000万人とする政府目標の達成に貢献することで、成田空港圏を訪れる訪日外国人も増加が期待されることから、成田空港圏の経済活性化にも大きく貢献できる。また、空港間競争に勝ち抜き、航空会社の需要を取りこぼすことなく成田空港が成長を続けることによって、成田空港圏の発展にも大きく寄与できると考えている。

そして、これらを実現するためには、2019年冬期スケジュールからのA滑走路の夜間飛行制限変更が必要であるとの要望を示して理解を求めた。

2019年冬期スケジュールから実施することの必要性



これらの実現には、2019年冬期スケジュールからA滑走路夜間飛行制限変更が必要



これを受けて四者協議会では、2019年冬期スケジュールからA滑走路の発着時間を、これまでの6時～23時より1時間延長して、24時までとすることを確認した。成田空港の滑走路の発着時間の延長は1978年の開港以来、これが初めてとなり、更なる機能強化に向けて大きく動き出したことになる。

22時以降のフライトが拡充・利便性向上

NAAは四者協議会での合意を受けて、夜間帯へのフライトの誘致へ航空会社等との折衝を本格的に開始。国内線やアジアの近距離路線から、中東等の長距離路線まで、多方面のネットワークを提供できることを目指して準備・調整等を進めてきた。

その結果、2019年冬期スケジュールにおいて22時以降に設定された旅客便は出発および到着が週72回（うち、新たに22時台および23時台に設定された便が週47回）、貨物便は54回（うち、新たに22時台および

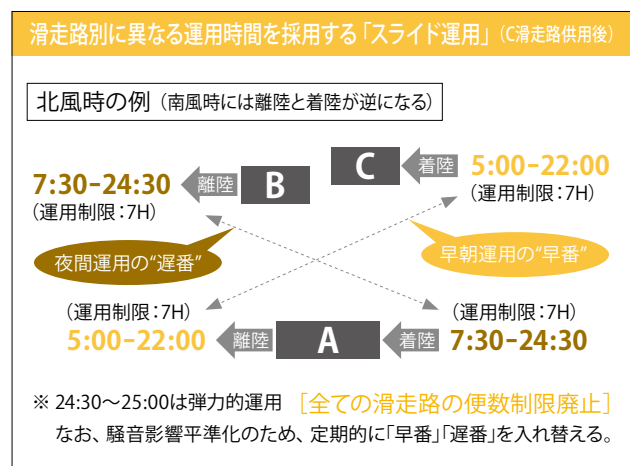
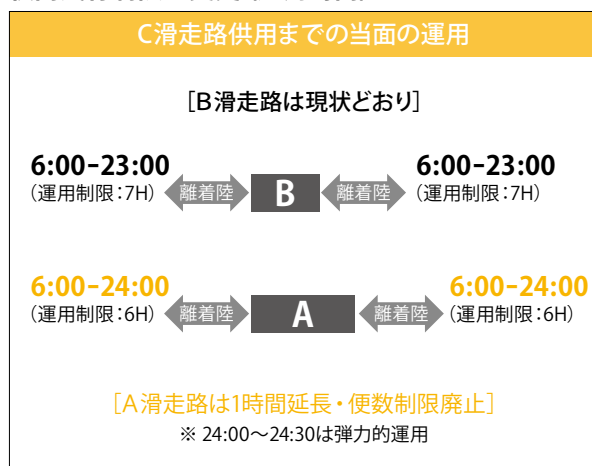
23時台に設定された便が週24回）に及んだ。夏期スケジュールと比べると全体として20回多くなり、A滑走路の発着時間延長による具体的な成果が、冬期スケジュール期初から出てきている。

また、2019年冬期スケジュールからは、これまでに運航がなかった時間帯に定期便が就航することで、各ターミナルでの旅客サービスや空港アクセスの確保など、関係各所でもさまざまな対応が求められることから、NAAはこれらへの準備・調整等も重ねてきた。

このうち、22時以降のフライトをご利用のお客さまがショッピングや食事を搭乗時刻の間際までお楽しみいただけるよう、出国審査場から搭乗ゲートまでの移動動線のエリアにある店舗の営業時間を重点的に延長して、日中と遜色ない商空間でお客さまをお迎えする態勢を整えた。

到着のお客さまには、24時間営業のコンビニエンスストアをはじめ、到着時免税店や手荷物宅配カウンターなどで、到着後に必要なサービスを最終便まで提

夜間飛行制限の変更（運用時間）



22時以降のフライトスケジュール

【旅客便】

成田発時刻	目的地	運航会社
22:00	ホノルル	日本航空
22:20	ドーハ	カタール航空
22:20	台北	ピーチ・エア
22:25	上海浦東	ジェットスター・ジャパン
22:30	クアラルンプール	マレーシア航空
23:00	ドバイ	エミレーツ航空
23:00	イスタンブール	ターキッシュ・エアライン
23:10	台北	ジェットスター・ジャパン
出発地	成田着時刻	運航会社
福岡	22:00	ジェットスター・ジャパン
鹿児島	22:10	ジェットスター・ジャパン
大分	22:20	ジェットスター・ジャパン
那覇	22:30	ジェットスター・ジャパン
寧波	22:55	Spring Japan

【貨物便】

成田発時刻	目的地	運航会社
22:00	アンカレッジ	アトラスエア
22:00	アンカレッジ	カリッタ航空
22:05	名古屋	ポーラーエアカーゴ
22:05	上海	ポーラーエアカーゴ
22:10	アンカレッジ	カリッタ航空
22:20	上海	日本貨物航空
22:30	香港	カーゴルクススイタリア
22:30	上海	全日本空輸
22:30	青島	全日本空輸
22:30	仁川	エアージャパン
22:35	香港	アエロロジック
23:00	シンガポール	日本貨物航空
23:30	アムステルダム	日本貨物航空
23:30	上海	全日本空輸

■色の文字は新規乗り入れ ■色の文字は時間変更 ■色の文字は従来からの継続

※フライトスケジュールは変更になる場合があるため、実際の運航日、時刻等については航空会社にご確認ください



夜の発着便や空港アクセスが充実した成田空港の魅力を広告でもPR

供している。

バス・鉄道などの交通機関も、成田空港を夜間に発着する航空便にも対応できるよう運行時間を延長した。

バスについては、複数のバス会社が、東京・新宿・池袋・横浜方面等への高速バスの出発時刻を従来よりも1時間程度延長して23時台、24時台に出発するダイヤを設定。鉄道については、京成スカイライナーの最終便を成田空港駅23:20発に延長したほか、京成本線は、成田空港駅24:07発の普通列車(宗吾参道行き)を新設した。一方、JR総武線快速は同23:45発とこれまでより1時間程度延長した。

これに加えて、夜間勤務の空港スタッフの確実な帰宅手段を確保するため、鉄道を補完する深夜急行バスの実証実験運行も開始された。この深夜急行バスは各旅客ターミナルと貨物地区において従業員を乗車させた後、主要な駅を経由して最終的に勝田台駅まで運行されており、この結果を踏まえて、本格運行への移行を検討することとしている。

さらに、A滑走路発着時間の延長により、空港従業員のシフト時間の繰り下げも想定されることから、空港内保育ルーム「たんぽぽ」では、保育時間(延長時間)を現在の21時から1時間延長し、22時までとした。

内窓設置工事等の環境対策も充実

A滑走路の発着時間延長に伴い、地域の皆さまの夜間の安眠を確保するため、深夜早朝対策として、対象区域内の住宅の寝室への内窓設置工事を2018年10月から進めている。これまでも住民説明会・相談会の開催や対象世帯へのDM郵送に加え、内窓効果体験住宅のオープンなどの周知活動を通じて、1軒でも多くの方々に内窓を設置いただけるように努めるとともに、申請された住宅への工事を迅速に行っている。また、ペアガラスの助成、世帯の人数による防音工事限度額の柔軟化、浴室・洗面所・トイレを含む外郭防音化など、制度の拡充により、環境対策の充実を図っている。

新滑走路は2028年度末の完成を目指す

成田空港の更なる機能強化については、2019年冬期スケジュールからのA滑走路の発着時間延長を第一歩として、さらに抜本的な施策である滑走路の延伸・新設を進めていく。B滑走路は北側に1000m延伸し、現在の2500mから3500mに変更する。B滑走路の南側には新たに3500mのC滑走路を整備する。

C滑走路供用後は滑走路別に異なる運用時間を採用する「スライド運用」を導入し、飛行経路下の静音時間を7時間確保した上で、発着時間を5時～24時30分

までに延長する。

この更なる機能強化に向けてNAAは11月7日、航空法に基づく空港等の変更許可申請等を国土交通省に行った。これは、国土交通省が11月5日に、成田国際空港株式会社法に基づき、国土交通大臣が定める成田空港の基本計画を改定したことを踏まえたもの。申請内容は、B走路の延伸、C滑走路の新設、誘導路の新設、およびこれらに伴う空港の敷地範囲の拡張である。

この変更により、B滑走路は北側へ1000m延伸して3500mとし、その南側に3500mのC滑走路を新設する。空港の敷地範囲は1099ha拡張して2297haとなる。今後も引き続き地権者の皆さまのご理解を得られるよう最大限努力するとともに、地域と空港の共存共栄に向けて、丁寧な対応を進めていく。

滑走路の延伸・新設は2028年度末の完成を予定しており、2030年に訪日外国人6000万人という政府目標の達成を実現することに加え、我が国の国際競争力の基盤となるべく、日々激しくなる世界の空港間競争に勝ち抜き、地域の発展に貢献していくためにも1日でも早い供用開始を目指す。

終バス・終電時刻表

	運行会社・路線	出発時刻			到着時刻	
		第3ターミナル	第2ターミナル	第1ターミナル	停留所	時刻
バス	東京空港交通(横浜)	23:05	23:10	南 23:15 北 23:20	Y-CAT	24:45
	東京空港交通(T-CAT・東京)	23:25	23:30	南 23:35 北 23:40	T-CAT 東京駅	24:35 24:50
	東京空港交通(池袋・新宿)	23:30	23:35	南 23:40 北 23:45	新宿駅 池袋駅	25:05 25:25
		24:00	—	—	T-CAT 新宿駅 池袋駅	24:55 25:20 25:40
	ピー・トランセグループ (THEアクセス成田)	23:45	北 23:50 南 23:55	24:00	東京駅 銀座	25:05 25:15
		24:45	北 24:50 南 24:55	25:00	東京駅 銀座	26:05 26:15
	京成バス(幕張新都心)	23:55	24:00	24:05	海浜幕張駅 稲毛海岸駅	24:47 25:13
	京成バス(東京シャトル)	24:15	北 24:20 南 24:25	24:30	東京駅	25:32
鉄道	運行会社・路線	出発時刻		到着時刻		
		成田空港	空港第2ビル駅	駅名	時刻	
	京成スカイライナー	23:20	23:23	日暮里 京成上野	23:59 24:04	
	JR総武線快速	23:45	23:49	千葉	24:30	
	京成本線	24:07	24:10	宗吾参道	24:23	

■色の文字はダイヤ新設(増設) ■色の文字はダイヤ変更
※Y-CAT: 横浜シティエアーミナル T-CAT: 東京シティエアーミナル